

ファルマバレープロジェクトの 20年の歩みと次なるステージ



令和5年2月7日
静岡県経済産業部

目次

1. ファルマバレープロジェクト20年の歩み
2. トピックス(R4・5年度の取組)
3. 次なるステージに向けた2つの新展開

目次

1. ファルマバレープロジェクト20年の歩み

2. トピックス(R4・5年度の取組)

3. 次なるステージに向けた2つの新展開

ファルマバレープロジェクト20年の歩み

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

構
想



第1次
戦略計画

第2次
戦略計画

第3次戦略計画
(1次改定:H27、2次改定:H30)

第4次

★ 静岡がんセンター開院

- ・平成14年静岡県立静岡がんセンター開院
- ・平成25年特定機能病院承認
- ・令和2年がんゲノム医療中核拠点病院指定



静岡新聞提供

★ ファルマバレーセンター開設

- ・平成15年ファルマバレーセンター開設
- ・平成17年ファルマバレーセンター事務所を静岡がんセンター研究所内へ移転

ファルマバレープロジェクト20年の歩み

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

構
想

★
第1次
戦略計画

★
第2次
戦略計画

第3次戦略計画
(1次改定:H27、2次改定:H30)

第4次

★ 首都圏大学との連携協定

- ・平成16年早稲田大・東工大・農工大と連携協定締結、平成22年慶應義塾大学と連携協定締結
- 医看工連携による画期的な診断・治療法等の研究開発(医看工連携)を推進



かかりつけ湯

- ・平成17年協議会を設立
- 伊豆地域の豊かな自然や温泉、食材などの観光資源を組み合わせた特色ある健康サービスや癒しを提供

ファルマバレープロジェクト20年の歩み

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

構
想

第1次
戦略計画

第2次
戦略計画

第3次戦略計画
(1次改定:H27、2次改定:H30)

第4次

★ ファルマバレーセンター 全所開所

- ・平成28年ファルマバレープロジェクト新拠点施設として「ファルマバレーセンター(静岡県医療健康産業研究開発センター)」を開設
- ・平成29年ふじのくに医療城下町推進機構設立



★ 長泉町とのファルマバレープロジェクト推進に関する覚書締結

- ・平成30年公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構と長泉町が医療・福祉分野での相互連携に関する覚書を締結

ファルマバレープロジェクト20年の歩み

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4

構
想

第1次
戦略計画

第2次
戦略計画

第3次戦略計画
(1次改定:H27、2次改定:H30)

第4次



★ 健康長寿・自立支援 プロジェクト

- ・平成30年健康長寿・自立支援プロジェクト
スタート
- ・令和2年自立のための3歩の住まいモデル
ルーム開設



★ 山梨県との連携

- ・令和元年12月に両県の医療健康産業政策
に関する連携協定を締結
- ・令和3年4月に「ふじのくに先端医療総合特
区」に山梨県7市町が追加

プロジェクト20年の歩み ～医療城下町の形成～

静岡がんセンター

- ・ 平成14年4月開設
- ・ 全国トップレベルのがん専門病院
- ・ 2,500人の雇用創出、400億円規模の活動

ベックマン・コールター

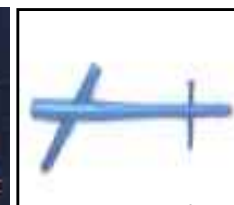
ヤンセンファーマ

ファルマバレーセンター

- ・ 平成28年9月全部開所（現在10社入居）
- ・ テルモ(株)、東海部品工業(株)が医療機器を生産
- ・ 300億円規模の製品開発

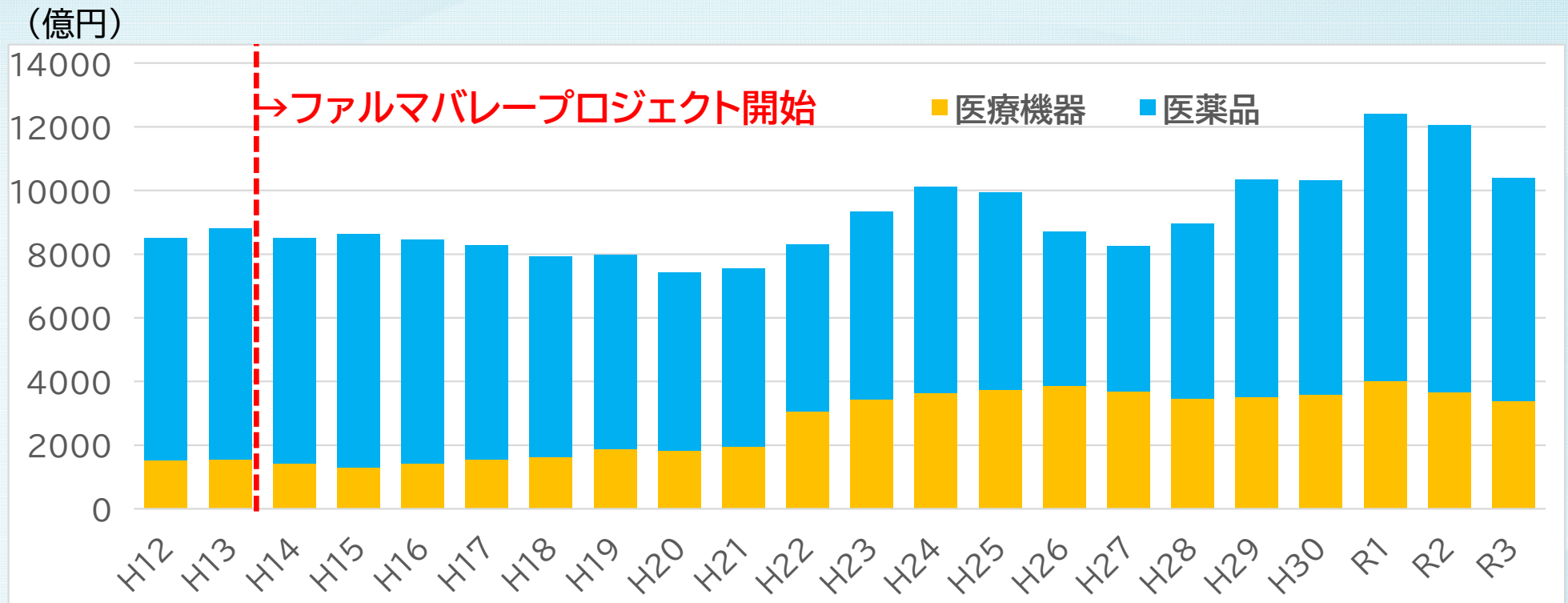


ECMO



大腿骨インプラント

プロジェクト20年の歩み ～医薬品・医療機器の生産金額～



ファルマバレープロジェクト開始以降

医薬品・医療機器合計生産金額 : 1.2倍

医療機器生産金額 : 2.4倍

静岡県東部を中心に医療健康産業が集積

プロジェクト20年の歩み ～地域企業の製品開発・新規参入～

○ 製品開発件数

・ファルマバレーセンターの支援
により製品化された商品

162件

○ 地域企業の新規参入

・新たに医療機器製造業・製造
販売業の許可を取得した企業

48社

製品事例

電子駆血帯 月兔



人工関節
インプラント



放射線治療用補助具
(3Dアジャストボラス)



ゲノム研究用
核酸分離システム



マスク装着時
呼吸補助具



検査用・手術用
肛門鏡



分野別参入企業

全体	48社
電気・機械関連	16社
医療備品関連	15社
輸送機械関連	10社
その他	7社

プロジェクト20年の歩み ～プロジェクトHOPE～

(High-tech Omics-based Patient Evaluation)

- 静岡がんセンター(単一医療機関)のプロジェクト
- 手術検体の最先端分析装置を用いた**マルチオミクス解析**
- **約10,000症例登録、類の無い日本人のがんゲノムデータ** 〈次世代DNAシーケンサー〉

がんの遺伝的特性の収集

個別化医療への応用

分子標的薬、バイオマーカー、診断薬の開発



エスアールエル・静岡がんセンター共同検査機構(株) (平成30年9月)

- ・がん遺伝子検査「ふじのくにHOPEオンコパネル」**令和5年薬事承認申請予定**
- ・全ゲノム解析、RNA-seq解析(がんの遺伝子変化の網羅的解析) **2億3千万円受注(令和4年度)**

がんゲノム医療中核拠点病院指定 (令和2年4月)

- ・厚生労働省が指定。**県内初。全国で12医療機関のみ**

国家プロジェクトの研究に参画 (令和3年8月)

- ・がん全ゲノム解析等における患者還元に関する研究(**国がん、がん研有明、静岡がん**)

プロジェクト20年の歩み ～プロジェクトを支える人材の育成～

【医療健康産業を牽引する産業人材】 医用機器開発中核人材養成講座 (F-met)



(沼津工業高等専門学校)

参加者: 県内中小企業の技術者

- **全国初**の認定講習(本県提案を国が全国展開)
⇒ H21年度～R3年度
109人が修了



- **静岡・山梨県からの相互認定(予定)**
⇒ 両県連携の取組として、F-metと山梨大学医療機器産業技術人材養成講座の修了者に対して、静岡・山梨両県における責任者資格要件を緩和

【質の高い医療人材】 認定看護師教育課程



(静岡がんセンター)

参加者: 全国がん拠点病院の看護師

- 病院立としては**全国初**
⇒ H21年度(開講)～R3年度
延べ524人が認定審査合格



- **特定行為研修を組み込んだ認定看護師教育課程を実施(令和2年4月～)**
⇒ 医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療補助を行う看護師を育成

目次

1. ファルマバレープロジェクト20年の歩み

2. トピックス(R4・5年度の取組)

3. 次なるステージに向けた2つの新展開

トピックス ～PVCによる研究開発支援～

医療機器等開発助成の制度拡充

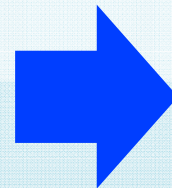
○医療健康分野における県内中小企業の新たな製品の上市を目指す取組に対して、費用の一部を助成

※静岡県又は、山梨県企業1社以上との連携事業が対象

○R5年度より助成制度を拡充し、取組への支援を強化

【～R4】

上限額	3,000千円
対象年度	単年度



【R5～】

上限額	<u>引き上げ</u>
対象年度	<u>複数年度</u>

- ・これまでは医療機器クラス I や雑品の製品開発が中心
- ・上限額の引き上げ、事業対象年度の複数年化により、高度で複雑な医療機器製品の開発を目指す

トピックス ～補助器具の情報提供・開発～

超高齢社会の課題に対応する地域企業の製品開発を促進

【自立支援・介護支援機器等開発助成事業(R元～)】

メニュー	一般枠	モデルルーム特別枠(R3～)
補助上限	3,000千円	4,000千円
補助率	1/2	2/3
補助実績	14件	4件

【主な成果品】



自立支援型
電動昇降式トイレベッド



ワイヤレス・ナースコール



重度障がい児用
カーシート

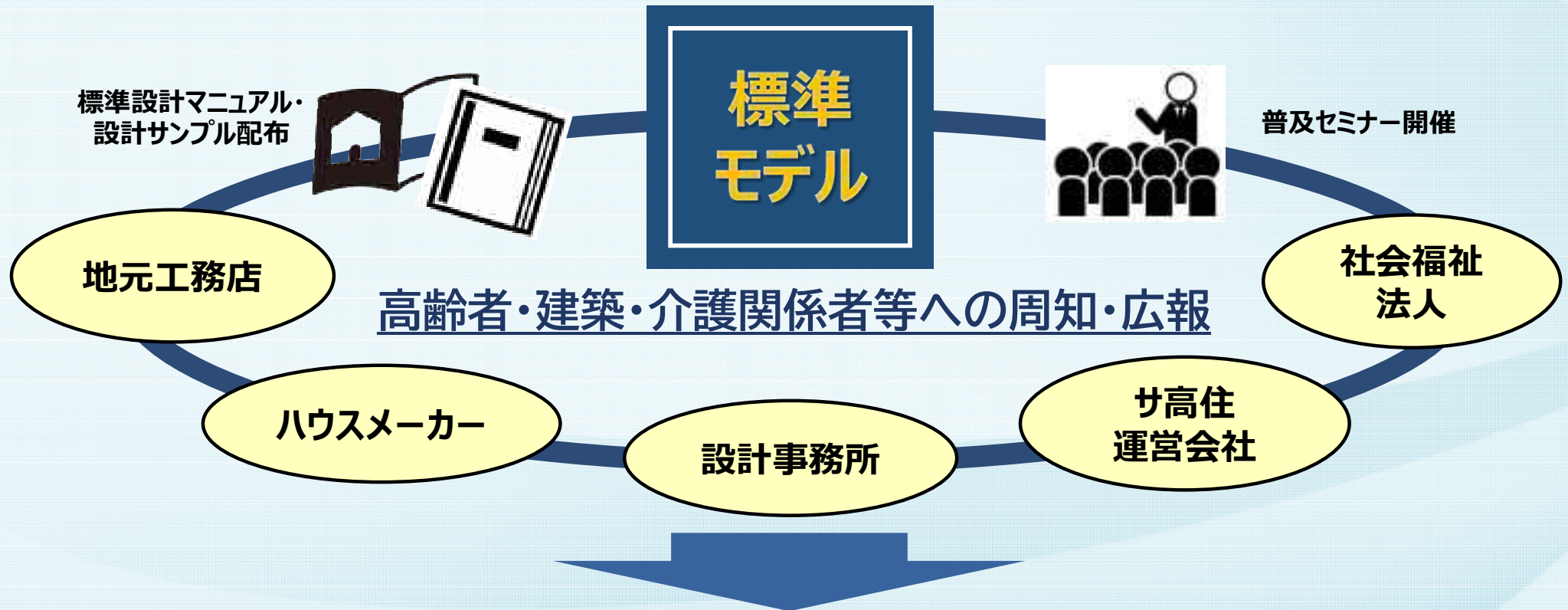


会話用補助器具
「聴こえ♪ルンです」
⇒モデルルーム特別枠第1号

トピックス ～人生100年時代の住宅整備～

令和4年度 国土交通省「住まい環境整備モデル事業」に採択

「自立のための3歩の住まい」のコンセプトを普及させるために、
実際の設計に役立つマニュアルや設計事例の作成



「自立のための3歩の住まい」の実装化を目指す



【一般住宅(戸建)】
新築・リフォームで展開



【集合住宅(賃貸等)】
サ高住などで展開

トピックス ～山梨県との連携～

R4年度取組実績

共同製品開発

手術用頭部固定具の不織布カバーを山梨県企業が製作し、製品化
[両県共同開発の第1号](#)



両県企業間の工場見学・視察実施

両県企業間のマッチング
R4.10：山梨県企業見学
R4.11：静岡県企業見学



人材育成

静岡県との連携を契機に、山梨大学の講座が令和4年度より[認定講習](#)として実施



展示会・商談会

展示会の共同出展等



ふじのくにアライアンス

両県の支援機関、金融機関8団体で[医療健康産業の振興等を目的とした連携協定を締結](#)



R5年度取組

医療機器製販企業への
ニーズ調査、相談会実施

ニーズの収集



地域企業とのマッチング



両県共同製品開発の促進

目次

1. ファルマバレープロジェクト20年の歩み
2. トピックス(R4・5年度の取組)
3. 次なるステージに向けた2つの新展開

次なるステージに向けた2つの新展開

展開1 静岡がんセンターを基盤とした医科系大学院大学の設置

蓄積された「がん診療」、「医療ものづくり」の
ノウハウを基盤に医科系大学院大学設置を目指す

- がん医療の各領域において高度な研究能力を持つ人材の育成
- 将来的には医療機器、薬剤など医療健康産業人の育成

<予定される講座>

- ・ がん関係 : 外科療法、薬物療法、放射線療法、免疫療法、
集学的治療、個別化治療法 など
- ・ ファルマ関係 : 創薬、医療機器開発 など

<施設> 主に静岡がんセンター関連施設(研究所、病院)を利用

次なるステージに向けた2つの新展開

展開2 医療田園都市（メディカルガーデンシティ）構想

医療城下町

「患者」・「企業」中心
(今後も取組を継続)

静岡がんセンター

・ 全国トップレベルのがん専門病院、2,500人の雇用創出

ファルマバレーセンター

・ 雇用340人、300億円規模の製品開発

まちづくりの視点で発展

医療田園都市

「住民」中心
市町との連携

⇒ 令和5年6月を目途に構想を策定

- ・ **医療**・福祉・介護による安心が実現できるまち
- ・ **田園**のゆとりが味わえるまち
- ・ **都市**の活力が生きるまち

「超高齢社会の理想郷」を目指す



御清聴ありがとうございました

